

令和8(2026)年度都立文化施設の展覧会・公演ラインアップ (第1弾)

令和8年度の見どころをいち早くご紹介します

東京都歴史文化財団では、令和8(2026)年度に都立文化施設で開催予定の展覧会や公演の主要ラインアップを、ひと足早くご紹介します。今回は「展覧会・公演のラインアップ」第1弾の発表です。より早い段階から皆さまに情報をお届けすることで、各事業へのご関心を高め、広報活動の強化につなげてまいります。第2弾は1月下旬に発表予定です。

東京都美術館は開館100周年！

令和8(2026)年、東京都美術館は開館から100周年を迎えます。これを記念し、年間を通じて記念展覧会や関連イベントを多数開催予定です。日本初の公立美術館として、戦前から現代に至るまで、数多くの展覧会を通じて芸術文化の発展に寄与し、多くの人々に親しまれてきた歴史ある美術館の節目を祝う特別な1年となります。

エリック・カール展やマリメッコ展など、多彩なラインアップ

令和8年度も都立文化施設では、エリック・カール展やマリメッコ展など、各施設おすすめの展覧会・公演をはじめ、幅広いジャンルのラインアップを多数予定しています。子供から大人まで、どなたでも楽しめる内容が揃っていますので、ぜひご期待ください。

※本リリースで紹介している事業の詳細は、財団ウェブサイトをご覧ください。<https://www.rekibun.or.jp>

東京都美術館

特別展

「東京都美術館開館100周年記念
大英博物館日本美術コレクション
百花繚乱～海を越えた江戸絵画」
2026年7月25日～10月18日

応挙、北斎、歌麿…
世界を魅了した傑作、大集結！



円山応挙《虎の子渡し図屏風》1781-1782年 大英博物館蔵
© The Trustees of the British Museum 2026

東京都現代美術館

エリック・カール展

はじまりは、はらぺこあおむし
2026年4月25日～7月26日



アメリカを代表する絵本作家
エリック・カールの回顧展、
数々の名作を公開！

《フレームをもったはらぺこあおむし》2002年、エリック・カール絵本美術館
Collection of the Eric and Barbara Carle Foundation
© 2002 Penguin Random House LLC.

東京都庭園美術館

マリメッコ展

2026年10月3日～12月20日



フィンランド発—
心躍るマリメッコのプリントの世界

マイヤ・イソラ、マリメッコ《ビエニ・ウニッコ》1964年
© Marimekko Oyj Suomi-Finland Maija Isola 1964

東京都写真美術館

アジアン・コンテンポラリー展

2026年9月30日～2027年1月17日

アジアの現代写真シリーズ第2弾！

日本と中国の

新進・中堅作家をフィーチャー



「愛について アジアン・コンテンポラリー」(2018年)展示風景より

東京文化会館

新進音楽家国際キャリアアップ支援

2027年2月25日 ほか

大規模改修工事のため、令和8年5月7日～令和10年度中(予定)の
期間は休館します。休館中も、都内施設で各種事業を継続！

東京音楽コンクール入賞者等の
新進音楽家が世界に羽ばたく
機会を提供！



©堀田力丸

東京芸術劇場

「TMTギア」

パフォーミングアーツ・

音楽プロジェクト公演(仮)

2026年12月、2027年2月6日～7日(予定)

次期芸術監督岡田利規&山田和樹
がメンター。若手制作支援の
プロジェクト！



左から 岡田利規、山田和樹

お問い合わせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 総務部 総務課 早乙女 TEL:03-6256-9070

アーツカウンシル東京 企画部 広報課 長澤・柳生 TEL:03-6256-9967 / WEB:<https://www.rekibun.or.jp>

※個別の事業につきましては、別紙に記載の各施設の担当者までお問い合わせください。

東京都美術館

事業名	会期	概要
特別展「東京都美術館開館100周年記念 スウェーデン絵画 北欧の光、日常のかがやき」	2026年1月27日～4月12日	雄大な自然や心地よい暮らしで知られる北欧への関心が高まる中、スウェーデン美術を紹介する展覧会を開催します。スウェーデン国立美術館の全面協力のもと、スウェーデン美術黄金期ともいえる19世紀末から20世紀にかけて生み出された魅力的な絵画を通して、自然と共に豊かに生きる北欧ならではの感性に迫ります。
特別展「東京都美術館開館100周年記念 アンドリュー・ワイエス展」	2026年4月28日～7月5日	20世紀アメリカ具象絵画を代表する画家のアンドリュー・ワイエス（1917-2009）の回顧展。91歳で没するまで自分の身近な人々と風景を描き続けたワイエスの作品には、自分のいる側と向こう側を隔てる象徴として窓や扉といったモチーフが多用されます。本展はそれらのモチーフを中心に、ワイエスが描いた世界を見ていきます。
東京都美術館開館100周年記念 都美セクショングループ展 2026	2026年6月～7月上旬	従来の発想にとらわれず新しい表現を追求する現代作家たちの創作活動の支援を目的としたグループ展です。東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な、グループによる展覧会企画を公募し、審査により選出した3つのグループによる展覧会を開催します。
企画展「東京都美術館開館100周年記念 この場所の風景 – 誰のために、何のために、つくられ／記録されてきたのか」 （仮）	2026年7月23日～10月7日	日本初の公立美術館として誕生し、美術家たちの作品発表の場として日本近代美術の展開と共に歩んできた東京都美術館。そこから遠く離れた場所で、発表を前提とせずに私的／個人的に展開された美術活動。それぞれの「100年」を並行して振り返ることで、美術の持つ根源的な意味や、美術館の今後のあり方について再検討する機会を創出します。
特別展「東京都美術館開館100周年記念 大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画」	2026年7月25日～10月18日	4万点に及ぶ大英博物館の日本美術コレクションから、江戸時代の屏風、掛軸、絵巻の絵画作品と、歌麿、写楽、北斎、広重など代表的な8人の浮世絵師による版画を中心に、優れた作品を厳選して紹介します。さらに、近年の調査成果や収集の背景にも光を当てることで同館が日本美術の収集・研究・保存の第一線で果たしてきた役割をたどります。

東京都美術館

事業名	会期	概要
特別展「東京都美術館開館100周年記念 オルセー美術館所蔵 いまを生きる歓び」	2026年11月14日～ 2027年3月28日	「印象派の殿堂」と称されるオルセー美術館のコレクションから、「いまを生きる歓び」をテーマに絵画や彫刻、工芸や写真など約110点を展示。近代化により急速に変わりゆく19世紀から20世紀初頭の社会で生まれた芸術は、絶えざる技術革新の波を生きる今の私たちになお新鮮な視座を示してくれます。ミレー《落穂拾い》をはじめ、ルノワール、モネ、ファン・ゴッホらの作品を通して、多様な歓びのあり様をご紹介します。
企画展「東京都美術館開館100周年記念 あなたが世界を読むために」	2026年11月19日～ 2027年1月11日	本展では、アルベルト・ジャコメッティ、砂澤ビッキ、谷川俊太郎、エレナ・トゥタッチコワ、山西ももの作品を通して、アートを「世界を読む」行為として捉えます。身体や言葉、自然を手がかりに表現された作品は、「世界とは何か」という問いを投げかけ、見る者に自身の存在の核心に触れ得るような機会を開いてくれることでしょう。

※この内容は2025年10月27日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都美術館 広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

お問い合わせ

東京都美術館

〒110-0007 台東区上野公園8-36

TEL : 03-3823-6921 / WEB : <https://www.tobikan.jp>

開館時間 : 9:30～17:30（特別展開催中の金曜日は20:00まで）

休館日 : 第1・第3月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、整備休館

特別展・企画展は月曜日休室（祝日・振替休日の場合は開室、翌平日休室）

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都庭園美術館

事業名	会期	概要
ルーシー・リー展―東西をつなぐ優美のうつわ―	2026年7月4日～ 9月13日	20世紀を代表するイギリスの女性陶芸家、ルーシー・リー（1902-1995）。ウィーン、ロンドンなどのエッセンスを吸収した彼女のうつわの魅力は、しなやかなながらも芯を感じさせる優美な形や色彩とされます。本展では、リーと交流のあった関連作家たちの作品もあわせて展示し、彼女が出会った人や時代背景を交えつつ紹介しながら、その造形の源泉や作品に表された信念を紐解きます。
マリメッコ展	2026年10月3日～ 12月20日	フィンランドを代表するデザイン・ブランド、マリメッコ。1951年の創業以来、世に送りだされたプリント・デザインは3500種類以上にのぼります。鮮やかな色彩と大胆な模様によって、私たちの生活を豊かに彩るデザインは、世代や国境を超えて広く支持されてきました。本展では、貴重なヴィンテージ・ドレスやファブリック、制作過程のイメージなど、多彩な資料を通してマリメッコの創造の美学を明らかにします。
リトアニアの手工品展	2027年1月16日～ 3月28日	様々な苦難の歴史を歩んできたリトアニアですが、人々は恵まれた自然を崇拜し、穏やかな暮らしをしてきました。自然素材を活かした手作りの生活品はシンプルですが、自然や命への感謝や祈りが込められています。近代工業を駆使したアール・デコの装飾空間の中で、素朴な手工品は何を語るでしょう。その対比が見どころです。

※この内容は2025年10月27日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都庭園美術館 広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

お問い合わせ

東京都庭園美術館

〒108-0071 港区白金台5-21-9

TEL : 03-3443-0201 / WEB : <https://www.teien-art-museum.ne.jp>

開館時間 : 10:00～18:00

休館日 : 月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都写真美術館

事業名	会期	概要
アジアン・コンテンポラリー展	2026年9月30日～ 2027年1月17日	三影堂・廈門（アモイ）のチーフキュレーター、滕青云（テン・チンヤン）氏との共同企画により、現在の日本と中国を様々な観点から切り取った両国の新進・中堅作家を紹介します。三影堂は、国際的に活躍する写真家、榮榮&映里（ロンロン&インリ）が2007年に北京で設立した、世界でも重要な写真の複合施設です。2018年に続きアジアの現代写真を紹介するこの企画では、経済格差や自然災害、ジェンダーなど身近なテーマに注目します。
日本の新進作家 vol.23	2026年9月30日～ 2027年1月17日	写真・映像の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘する「日本の新進作家」展の23回目。実際に存在した記憶や素材をもとに、AIやデジタル技術を用いて作品を制作する現代作家たち。記憶、素材、技術などが持つコンテクストを、制作において再構築するプロセスを探ります。真偽にまどわされることが多い日常での情報との向き合い方を改めて考える機会となることでしょう。

※この内容は2025年10月27日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都写真美術館 広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

お問い合わせ

東京都写真美術館

〒153-0062 目黒区三田1-13-3恵比寿ガーデンプレイス内

TEL : 03-3280-0099 / WEB : <https://www.topmuseum.jp>

開館時間 : 10:00～18:00（木曜日・金曜日は20:00まで）

休館日 : 月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始、臨時休館日

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京都現代美術館

事業名	会期	概要
エリック・カール展 はじまりは、はらぺこあ おむし	2026年4月25日～ 7月26日	『はらぺこあおむし』日本語版50周年を記念して、米国・マサチューセッツ州にあるエリック・カール絵本美術館とともに開催します。27冊の絵本の原画に加え、グラフィックデザイナー時代の作品、アイディアの最初の構想段階で作られるダミーブック、コラージュに使用する素材など約180点を展示します。原画の色鮮やかさ、デザイナーとしての造本の工夫、そして絵本に込めたこども達への優しいまなざしを体験いただけます。
多田美波（仮）	2026年8月29日～ 12月6日	彫刻からレリーフ、シャンデリア、建築の仕事まで、多彩な分野で活躍した多田美波（1924-2014）の、東京では35年ぶりとなる個展を開催します。高度経済成長を期に次々と生まれた工業素材や技術を芸術表現へ取り入れた先駆者であり、近年も国内外で再評価が高まる女性作家の軌跡をたどりま す。初期の絵画作品から、光の反射や透過を取り入れた代表的な彫刻、建築空間のための造形作品までを、関連資料とともに展覧します。
共時的星叢一時を共にし た星たち 越境する芸術 のまなざし	2026年9月5日～ 12月13日	日本と台湾における近代の受容と発展を、美術、映画、文芸、音楽など多様な芸術文化を切り口に再考します。映画監督・黄亜歴（ホアン・ヤーリー）は映画『日曜日の散歩者』で、日本統治下の1930年代台湾で結成されたモダニズム詩社「風車詩社」の文化的交流や葛藤を斬新な手法で描きました。その実験的な映画言語を反映した空間で、時代や地域、ジャンルを越え表現を共鳴させることで、現代の視点から近代を見つめ直す試みです。
サンプ라이ド財団との 共催展（仮）	2027年2月6日～ 5月16日	サンプ라이ド財団は、性的少数者（LGBTQ+）を含めた全ての人々の共存と平等の実現に貢献することをミッションに、作品収蔵や展示活動等を行っています。同財団と連携する本展覧会は、ジェンダーとセクシュアリティに関する今日的な問いをテーマに、収蔵作品、作家からの借用作品ならびに委嘱作品で構成する国際グループ展です。

東京都現代美術館

事業名	会期	概要
ハンス・ハーケ（仮）	2027年2月6日～ 5月16日	1960年代のニューヨークで展開されたコンセプチュアル・アートの中心人物として、この運動を、権力・経済・文化が複雑に絡み合うシステムへの批判的な問いかけへと導いたハンス・ハーケ（1936-、ドイツ、ケルン生まれ）のアジアにおける初の大規模回顧展。環境問題から政治的・企業の権力への追及まで、歴史的な作品やプロジェクトを幅広く紹介し、ハーケの実践とその現代における意義を包括的に提示します。
MOTアニュアル2026 （仮）	2027年2月20日～ 5月30日	MOTアニュアルは、多様な文化や表現が交差する東京を拠点に、現代美術の一側面を切り取り、問いや議論の契機を生むグループ展です。「MOTアニュアル2026」では、現代美術、舞台芸術、実験音楽を横断する若手アーティストたちの多彩な試みを紹介し、身体を通して過去と現在をつなぎ、感覚や体験に新たな地平を開きます。とくに、個人や社会の記憶を呼応させるパフォーマンスに焦点を当てます。

※この内容は2025年10月27日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京都現代美術館 広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

お問い合わせ

東京都現代美術館

〒135-0022 江東区三好4-1-1（木場公園内）

TEL：03-5245-4111 / WEB：<https://www.mot-art-museum.jp>

開館時間：10:00～18:00

休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌平日休館）、展示替え期間、年末年始

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京文化会館

事業名	会期	概要
第24回 東京音楽コンクール	第2次予選 2026年8月20日～22日 本選 2026年8月25日、27日、29日	新人若手音楽家の発掘を目的としたコンクールです。2026年度は、ピアノ、弦楽、金管の3部門を対象に開催します。本選ではオーケストラ伴奏による演奏審査を行い、各部門の第1位から第3位の入賞者などを選出し、表彰式を行います。 第2次予選（公開審査） 会場：すみだトリフォニーホール 本選（公開審査） 会場：東京芸術劇場
東京音楽コンクール 優勝者＆最高位入賞者コンサート	2027年1月11日	第24回東京音楽コンクール各部門優勝者・最高位入賞者の披露演奏会です。各演奏後の司会者によるインタビューを通し、ソリストの人物も紹介します。 ソリスト：ピアノ部門、弦楽部門、金管部門の各優勝者または最高位入賞者 指揮：調整中 管弦楽：調整中 会場：東京芸術劇場
上野 de クラシック	2026年4月～2027年2月（年6回） 2026年4月22日 ほか	東京音楽コンクールの入賞者の支援を目的に開催するコンサートです。休館中はソロの演奏にMCを交えながらお届けします。平日午後に開催予定です。 会場：小ホール(4月のみ)および旧東京音楽学校奏楽堂
舞台芸術創造事業 IRCAMシネマ ～ボンピドゥー・セクターと歴史的無声映画のコラボレーション～（予定）	2027年2月26日	IRCAM(フランス国立音響音楽研究所)で行われるマニフェスト・アカデミー参加者がアニメーション映画に合わせて作曲した作品を生演奏で映画と共に上演します。多彩な打楽器で繰り広げられる映画の世界をお楽しみください。 作品調整中 会場：浜離宮朝日ホール（予定）
新進音楽家国際キャリアアップ支援	2027年2月25日 ほか	作曲家オンドレイ・アダメクやIRCAMエンジニアを招聘し、東京音楽コンクール入賞者を中心とした新進音楽家にマスタークラスを提供します。また東京音楽コンクール入賞者と、レ・シエクルの首席ヴィオラ奏者キャロル・ロト＝ドファンやレ・ヴォルク音楽祭のアーティストの共演によるコンサートを実施することにより、新進音楽家の国際交流・研鑽の機会を創出します。 会場：浜離宮朝日ホール（予定）

東京文化会館

事業名	会期	概要
貸館連携事業	年3回程度開催	次世代を担う子供たちや高齢者などを対象とし、貸館利用者との連携により、オペラやバレエ公演と連動したワークショップや公開リハーサル、バックステージツアーなどを行います。 会場：大ホール ほか
国内外連携事業	年3回程度開催	国内外の文化施設と連携し、若手アーティストの活躍の場の提供や、東京文化会館ミュージック・ワークショップなどを行います。 会場：軽井沢大賀ホール ほか

※この内容は2025年10月27日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京文化会館 広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

東京都において全面的な設備機器更新等の大規模改修工事を行うため、以下の期間休館いたします。

【休館期間】 令和8年5月7日～令和10年度中（予定）

お問い合わせ

東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45

TEL : 03-3828-2111 / WEB : <https://www.t-bunka.jp>

開館時間 : 10:00～22:00

休館日 : 年末年始、保守点検日 ほか

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。

東京芸術劇場：音楽（1）

事業名	会期	概要
音楽大学オーケストラ・フェスティバル	2026年11月23日、29日、 2027年3月28日	首都圏8つの音楽大学と2つの公共ホールが連携して行う音楽大学オーケストラ・フェスティバルです。秋の大学別公演、春の選抜メンバーで結成した合同オーケストラ公演を行い、若手演奏家の交流・育成を図ります。このフェスティバルは各大学間の交流と協力を目的としています。 出演：東京藝術大学、桐朋学園大学、東京音楽大学、武蔵野音楽大学、音楽大学フェスティバル・オーケストラ(管弦楽) 会場：コンサートホール
「TMTギア」音楽プロジェクト公演（仮）	2027年2月6日～7日	「TMTギア」は、岡田利規次期芸術監督（舞台芸術部門）・山田和樹次期芸術監督（音楽部門）と当館スタッフがメンバーとなり、若手アート・クリエイターの制作支援と海外発信を目指すプロジェクトです。2024年度に公募した、音楽分野の3名のアート・クリエイターの企画公演を東京芸術劇場で実施します。 会場：シアターイースト、シアターウエスト ほか
リサイタル・シリーズ	2026年4月8日、 2027年1月23日、 2月19日	東京芸術劇場 コンサートホールの豊かな響きは室内楽やピアノ・リサイタルにも適しています。昨年に引き続きピアノ・デュオを主軸とした『VS』シリーズに加え、国際的に活躍しているピアニストのソロリサイタルを実施します。 会場：コンサートホール
オルガン・ア・ラ・カルト（リサイタル・ナイト・ランチ・講座）	通年	東京芸術劇場が誇るパイプオルガンは、世界で唯一、回転機構を備えた特別な楽器です。その特性を活かし、多彩なコンサートや講座を通じて、オルガンの魅力をお届けします。 出演：徳岡めぐみ、ジャン＝フィリップ・メルカールト ほか 会場：コンサートホール

東京芸術劇場：音楽（2）

事業名	会期	概要
芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド	通年	プロフェッショナルを目指す若手奏者を対象とした、無償の音楽家育成アカデミープログラムです。レッスンやコンサートを通じた演奏指導を行うだけでなく、キャリアアップゼミを開講して社会で活躍するためのセルフプロデュース力を研鑽していきます。 会場：リハーサルルーム ほか
芸劇×「読響ジュニア・アンサンブル・アカデミー」	年10回程度開催	弦楽器の演奏経験のある小・中・高校生を対象に、読売日本交響楽団のメンバーが演奏指導にあたるエデュケーショナル・ワークショップです。読売日本交響楽団のメンバーと共に成果発表を行う機会も予定しています。 会場：リハーサルルーム ほか
読響 土曜・日曜マチネシリーズ(共催事業)	通年	日本を代表するトップ・オーケストラのひとつ、読売日本交響楽団との事業提携に基づき、土曜・日曜の午後に開催する人気のコンサート・シリーズです。 会場：コンサートホール
大ホール活性化事業(提携事業)	通年	午前中に開催するリサイタル、室内楽の人気企画「ブランチコンサート・シリーズ」、二期会/読売日響とのコンチェルタンテ・シリーズ（オペラ）、旬のソリストや合唱団との海外オーケストラ公演、ジャズ公演など、一流の演奏家によるコンサートを通年開催します。 会場：コンサートホール

東京芸術劇場：演劇・舞踊

事業名	会期	概要
新潟・岡山拠点団体との 共催公演	2026年12月、 2027年2月	りゅうとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点とする、Noism Company Niigataによる舞踊公演と、岡山芸術創造劇場 ハレ ノワが、新たに創作するオリジナルミュージカルを上演しま す。 会場（未定）
「TMTギア」パフォーミ ングアーツ・プロジェク ト公演（仮）	2026年12月（予 定）	「TMTギア」は、岡田利規次期芸術監督（舞台芸術部門）・ 山田和樹次期芸術監督（音楽部門）と当館スタッフがメン ターとなり、若手アート・クリエイターの制作支援と海外発 信を目指すプロジェクトです。2024年度に公募した、パ フォーミングアーツ分野の2名のアート・クリエイターの企画 公演を東京芸術劇場で実施します。 会場：シアターイースト ほか

※この内容は2025年10月27日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。

詳細は東京芸術劇場 広報担当までお問い合わせください。

※太枠は本プレスリリースの表紙に掲載している事業です。

お問い合わせ

東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1

TEL：03-5391-2111 / WEB：<https://www.geigeki.jp>

開館時間：休館日を除く 9:00～22:00

※最新情報は、公式ウェブサイトでご確認ください。